31 31 01 01 01 001

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　平成25年08月19日(月)

事務事業	後期高齢者医療事務	担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	3135
総合振興計画 基本戦略		事業区分	□ 自治事務	■ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト					サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000000（未割当）	根拠法令個別計画等	・高齢者の医療の確保に関する法律 ・深谷市後期高齢者医療に関する条例 ・深谷市後期高齢者医療条例施行規則				
行政計画分野別施策名 中項目	000000（未割当）						
行政計画分野別施策名 小項目	000000（未割当）						

事業概要	７５歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（６５～７４歳）で障害のある者を対象とする医療保険制度を運営するために、保険料の徴収、各種申請等の受付を行う。また、被保険者の健康増進を図り、医療費の軽減に寄与するため、健診事業を行う。
目的 ※何のために	高齢者医療を安定的に支えるとともに、高齢者に対する医療・介護サービスの質を維持、向上するため
対象 ※誰・何を対象に	７５歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（６５～７４歳）で障害のある者
手段 ※どのように	・保険料の徴収を行う。 ・各種申請の受付を行う。
成果 ※何を求めるか	対象者から誤りなく、保険料を徴収し、各種の申請等の手続きを円滑に行う。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	後期高齢者健診事業	7,936,852
	後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	後期高齢者人間ドック助成事業	525,000
	後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	一般事務経費	5,052,094
	後期高齢者医療特別会計	01 総務費	02 徴収費	01 徴収費	徴収経費	6,706,188
	後期高齢者医療特別会計	02 後期高齢者医療広域連合納付金	01 後期高齢者医療広域連合納付金	01 後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	2,060,604,682

本事業の主な業務	
・ 後期高齢者医療制度に係る各種申請等の受付	・
・ 後期高齢者健診業務の委託	・
・ 後期高齢者医療保険料の徴収	・
・	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区　分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	1,848,381,000	1,810,311,000	1,938,359,000	1,969,529,000	2,124,675,000	2,195,268,000
事業費	決算額	1,656,335,750	1,779,078,489	1,862,401,938	1,949,366,104	2,083,228,036	0
事業費 財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	県支出金	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	地方債	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	他特定財源	878,960,625	934,009,036	907,473,722	940,624,563	1,069,692,723	1,108,931,000
事業費 財源内訳	一般財源	777,375,125	845,069,453	954,928,216	1,008,741,541	1,013,535,313	1,086,337,000
人件費	従事職員数(人)	4.90	4.90	4.35	4.35	4.35	4.70
人件費	人件費相当試算※１	41,872,519	39,753,382	33,555,900	33,451,500	33,212,250	37,111,200
人件費		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		1,698,208,269	1,818,831,871	1,895,957,838	1,982,817,604	2,116,440,286	2,232,379,200

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名 / 目標値 / 実績値 / 年度別目標値の設定根拠 / 実績値の出所・算出式	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
■	活動指標１	保険料の徴収件数	件							■
		目標値								
		実績値		70,128.00	86,964.00	90,441.00	95,243.00	98,409.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可						
		月計累計表より								
□	活動指標２	各種申請等の受付件数	件							■
		目標値								
		実績値		0.00	3,298.00	4,327.00	4,736.00	5,021.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可						
		窓口受付状況一覧より								
■	成果指標１	誤りによる苦情件数	件							□
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値		0.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		０件を目標とする						
		業務安定システム事務処理対応表								
□	成果指標２	健康診査受診数	人							□
		目標値		0.00	0.00	0.00	976.00	1,010.00	0.00	
		実績値		1,225.00	1,120.00	1,199.00	919.00	996.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度の受診者実績＋１０％（Ｈ２４年度より採用）						
■	効率指標１	後期高齢者一人あたりの経費	千円							■
		目標値								
		実績値		120.88	125.38	127.75	130.95	135.98	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可						
		総事業費÷被保険者数		１３，７０２人	１４，１８９人	１４，５７８人	１４，８８６人	１５，３１９人		
□		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	－	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 被保険者数が年々増えており、それに伴い徴収件数・各種申請件数も増加している。今後も増加が予想される。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 被保険者の増加により、事務量も増えているが誤りなく正確な事務処理が行えている。健康診査については、７５歳年齢到達者に案内チラシを送付するなど周知を徹底したが、目標値には若干足りなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 被保険者の増加に伴い、医療費負担や徴収にかかる経費も増額となり、被保険者一人あたりの事務経費も年々増加している。

評価者	高齢者医療係長　吉岡　恵子

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	後期高齢者医療制度の被保険者は、すでに医療機関へ受診している場合が多いため、健康診査の受診者数の大幅な向上はなかなか見込めないが、今後は広報やホームページへの掲載のほか、案内チラシを作成し、窓口配布、被保険者への通知等へ同封をし、周知徹底を図る。
達成状況 及び その効果	７５歳年齢到達者への案内チラシを作成し、通知等へ同封した。また、窓口へも案内チラシを掲示し、受診案内をした。その結果、昨年度より受診者数は増加した。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	後期高齢者医療事務	担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	3135

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

後期高齢者医療制度の被保険者は年々増加しており、それに伴い各種事務量も増えているが、概ね順調に行われている。
しかし、後期高齢者医療制度の先行きは不透明であるため、国の動向を注視するとともに、関係機関と連携しながら適切な制度運用を図っていきたい。

評価者	保険年金課長　田沼　亨

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

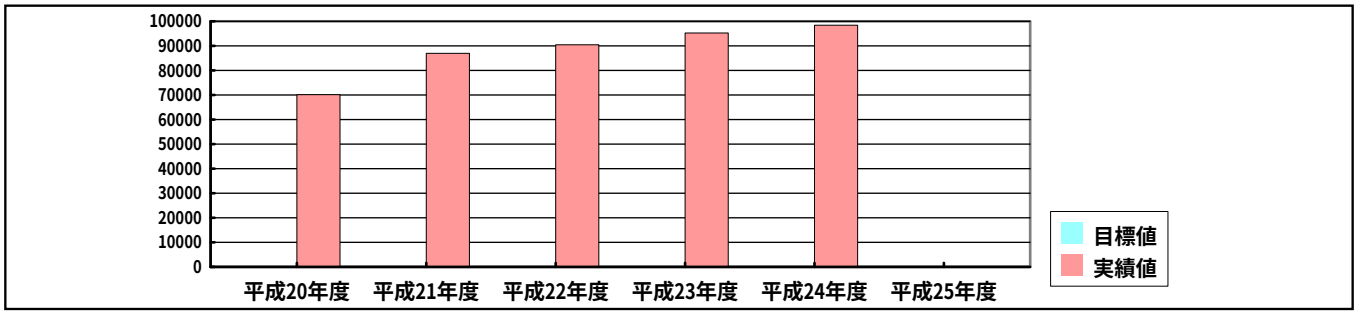
改善・改革案	

8．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

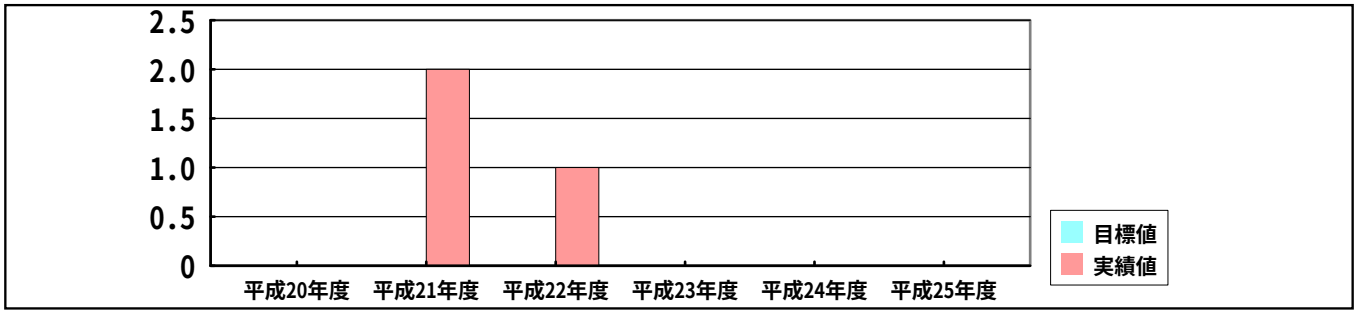
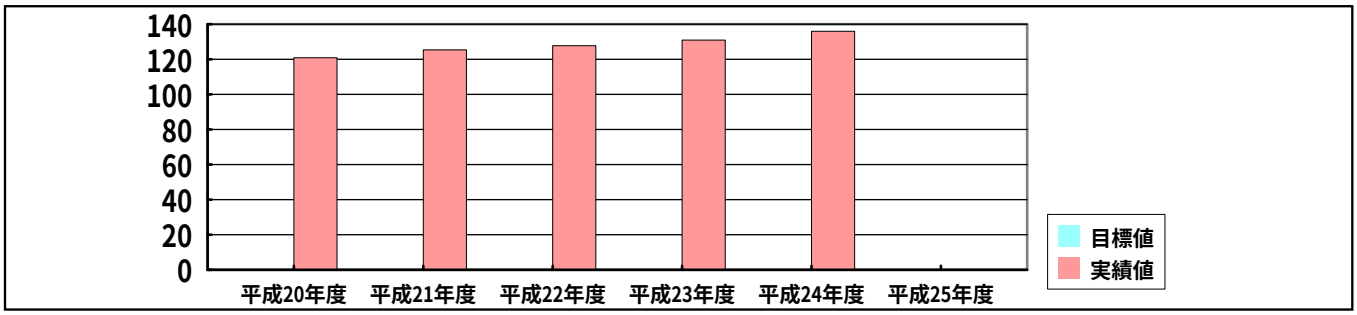
今後の課題	年々被保険者が増加するため、保険料徴収事務や各種申請の件数も増える見込みである。限られた経費の中で効率的に事務を執行していく。 肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成制度を開始し、接種者の負担軽減を図る。

9．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	保険料の徴収件数



区分	成果指標１	指標名	誤りによる苦情件数



区分	効率指標１	指標名	後期高齢者一人あたりの経費